

## 逆数学 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年3月20日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2	32	下から 8行目	…有理数の集合 $L$ …	…有理数の <u>空でない</u> 集合 $L$ …
1	48	下から 6行目	… $(\neg\varphi_1), \forall x\varphi_1, \dots$	… $(\neg\varphi_1), (\varphi_1 \Rightarrow \varphi_2), \forall x\varphi_1, \dots$
1	124	†2 訳注	…数をもたないモデルも存在しうるが、 <u>ここでは自然数部分が標準的なモデルだけを考えている。</u> 巻末…	…数以外の対象(超準元)も含むモデルが存在する。 <u>ただし、以下では超準元を含まないモデルのみが扱われている。</u> 巻末…
1	126	下から 9行目	$(\varphi(0) \wedge (\varphi(n) \Rightarrow \varphi(n+1))) \Rightarrow \dots$	$[\varphi(0) \wedge \forall n(\varphi(n) \Rightarrow \varphi(n+1))] \Rightarrow \dots$
1	147	†1 訳注	…具体的には、 <u>ある桁以降9が無限に続く表現、0が無限に続く表現、有限の桁で打ち切る表現のいずれを用いるかを決めておく必要がある。</u>	…具体的には、 <u>末尾に9が無限に続く表現か、0が無限に続く表現のどちらか一方に決めておかないと、実数 <math>x</math> が一意に定まらない。</u> <u>しかし、各桁が1か2の実数全体の列に対して、実数 <math>x</math> を定義するならこれで問題ない。</u>
1	150	†2 訳注 4行目	…有理区間対 $\langle (c, d), [a, b] \rangle$ の集合に…	…有理区間対 $\langle (c, d), [a, b] \rangle$ <u>もしくは4つ組 <math>\langle c, d, a, b \rangle</math></u> の集合に…
1,2	199	4行目	…シンプンソンと…	…シンプソンと…
1	201	下から 4行目	…並びを $\exists x_1 \exists x_2 \dots$	…並び $\exists x_1 \exists x_2 \dots$
1	203	3行目	… $\langle (c, d), (a, b) \rangle \dots$	… $\langle c, d, a, b \rangle \dots$
1	203	13行目	$\forall n \exists \langle (c, d), (a, b) \rangle \in \dots$	… $\forall n \exists \langle c, d, a, b \rangle \in \dots$